

Asia Design Global Workshop 2023 Summer
アジアグローバルデザインワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年07月27日 ～2023年08月03日	日本	蔚山科学技術大学校 蔚山大学 朝陽科技大学 キングモンクット工科大学ト ンブリ校 明志科技大学 プリンソンクラ大学	・デザイン工学科、機械工学 専攻 ・学部4年生、学部3年生、 学部2年生、学部1年生、修 士1年生	(芝浦工業大学)学生47名、 学生バイト11名、教員3名 (蔚山科学技術大学校)学 生15名、教員2名(蔚山大 学)学生20名、教員2名 (朝陽科技大学)学生12名、 教員3名(キングモンクット 工科大学トンブリ校)学生13 名、教員1名(明志科技大 学)学生10名、教員2名(プ リンソンクラ大学)学生14 名、教員2名(千葉大学) 学生8名、教員2名(国学院 大学)学生1名(香川大学) 学生1名(拓殖大学)学生1 名(東京理科大学)学生3 名(津田塾大学)学生5名	蘆澤 雄亮(デザイン工学 科)、紫里 光宏(デザイン工 学科)、瓜生 大輔(デザイン 工学科)



グループワークの様子 1

プロのデザイナーと素人との境目は観察能力の違いにあります。プロは「物事を体験」したり「新しいアイデア」を練ったりする際に、一般的なユーザーとは全く異なる視点で物事を追います。このワークショップでは、国の境目を越えた仲間たちと「観察」「発見」を行い、「その発見をもとにしたリデザイン」を行いました。

リ・デザインを行うためには「これはバッドデザインだね」というモノを発見しなければなりません。そこで各チームに上限予算6,000円を提供し、街中を巡ってバッドデザインを探してもらいました。ルールは「6,000円以内で買えるモノ」だけです。そして、それを魅力あふれる素敵なデザインに生まれ変わらせるというワークを行いました。



グループワークの様子 2



グループワークの様子 3



グループワークの様子 4



提案の展示を確認している様子



展示を作成している様子



集合写真